

令和3年度 八尾市立リサイクルセンター学習プラザ指定管理者事業報告

I 指定管理者名

特定非営利活動法人グラウンドワーク八尾
代表者 梶田 安彦

II 報告期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで 開館日数 259日
※新型コロナウイルス感染症対策により4月25日から6月20日まで臨時休館。

III 施設の利用状況

●令和3年度施設来館者数 4,942人

(有料施設使用、施設見学、講座、イベント参加等による来館者の計)

◆月別来館者数◆

(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
419	3	98	508	527	373	559	714	508	342	397	494	4,942

●その他館外イベントの参加者数 291人

IV 管理運営業務の実施状況

1. 管理運営全般に関すること

(1) 有料施設の使用の許可に係る業務

利用件数 11件

(2) 利用料金の徴収及び還付等に係る業務

利用料金収入 4,840円

2. 維持管理に関すること

(1) 清掃業務

日常清掃及び定期清掃について仕様書等に基づき適正に実施した。

(2) 施設・設備等点検整備業務

自動ドア保守点検、消防用設備等点検、防火対象物点検について仕様書等に基づき適正に実施した。

(3) 施設警備業務

施設の施開錠、施設内巡視、防犯カメラの管理等警備全般について仕様書等に基づき適正に実施した。

(4) 室内観葉植物管理業務

施設内の観葉植物の定期交換及び管理について仕様書等に基づき適正に実施した。

(5) 修繕・維持補修業務

指定管理者の責任区分の範囲内で実施すべきものについて適宜実施した。

3. 事業の実施に関すること

(1) リサイクルセンター見学対応（見学コース、ごみの3R講座）

例年、5月、6月に市内の小学校4年生の社会見学を受け入れているが、緊急事態宣言の発出により中止となった。

市内の保育園・こども園については、10月から12月までの間で11団体を受け入れ474人の見学があった。また、市内の2団体の24人の見学があった。

また、個人や家族連れの見学については937人の見学があり、市外団体については7団体98人の見学があった。

(2) 講座等環境啓発事業

① 3Rをテーマにした市民参加型事業

ごみの3Rの推進をはじめとした環境啓発として、以下のとおり事業を実施した。

㊦ リサイクル体験工房教室

○リサイクルアトリエ（177回開催）

受講者数 1,301人

（開催教室）デニムリメイク（初級・中級）、初めてのミシン、蜜蝋エコラップ、布ナプキン、ボタンクラフト、レザークラフト、ダーニング、ペーパークラフト、エコ石鹼作り、がま口作り、手縫い立体マスク、おしゃれ雑貨、糸掛けアート、クラフトパンチ、ペーパークイリング（初級・中級）、生活雑貨、麻紐エコ工作（中級）、クラフトパンチアート（中級）、リサイクルアトリエ（上級）、リサイクルアトリエ（コラボ）

全22講座

① フリーマーケット（2回開催）

延べ出店数 20店、延べ来場者数 187人

② 親子環境学習講座

親子で学ぶ（楽しむ）ことを主眼に置き、子どもたちの夏休み及び冬休み期間を利用して体験型の環境学習講座を開催した。

受講者数 132人（8回開催）

（開催教室）エコ石鹼作り、糸掛けアート、クラフトパンチ、貯金箱作り、新聞エコバック、ペーパークイリング
クリスマスカード作り、クリスマスリース作り

③ めぐる倶楽部

各種講習会を受講された方々に新たな作品づくりの機会を提供し、工房教室をはじめ参加者同士の活性化を目的に実施

参加者 延べ105人

④ 「ゆずります・ゆずってくださいコーナー」の企画・運営

(利用件数 875件)

リユースの促進として、衣類、雑貨類等使用可能なものを譲り受け、希望する者に無償で譲り渡す事業を実施した。感染予防対策として利用点数を制限する等の対策をとった。

⑤ めぐる祭り

工房体験教室参加者や市民の方々が作られたリサイクル作品を展示し、自主的な活動の拡大を図った。

(実施日)

9月4日(土)～9月30日(木)

(主な内容)

- ・リサイクル作品展示
- ・環境パネル展示
- ・ハンドメイド市場
- ・ワークショップ開催

⑥ 館外イベント

○環境学習支援事業(出前授業 実施回数4回)

園児、小学生、高校生を対象に出前授業を実施した。

○リサイクルアート展(11月26日・27日 参加者62名)

リサイクルアート展を茶吉庵(恩智中町)で開催し、アップサイクルの魅力を発信した。

⑦ その他事業

○小学生工場見学3Rクイズ(7月24日～8月31日 参加者57名)

収集された資源ごみやプラごみの行方を見学した後に、環境をテーマにした「○×クイズ」を実施した。

○紙すきと3R学習(10月10日 参加者3名)

3R学習として、工場見学と紙すきを同時に体験できるイベントを実施した。

○家族でカーボンニュートラル入門(11月3日 参加者9名)

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させるカーボンニュートラルについての学習会を実施した。

○コンポスト作りと工場見学(11月23日・3月6日 参加者10名)

段ボール箱を利用して生ごみ処理機作りを行い、その後工場を見学するイベントを実施した。

○ミシンの使い方説明会(4月6日・7日、1月23日 参加者5名)

リサイクル技術の普及のため家庭用電動ミシンの使い方学習会を実施した。

- 松ぼっくりツリー作りと地球温暖化の話（11月28日 参加者7名）
松ぼっくりを使った簡単にできるツリー作りとともに地球温暖化についての学習会を実施した。
- 環境学習DVD上映会（6月27日・7月4日・8月8日・3月13日
参加者11名）
地球温暖化など環境をテーマとしたDVD上映会を実施した。
- 環境落語（12月4日 参加者21名）
日本のエネルギー問題をテーマとした「発電お好み焼き横丁」のオリジナル落語鑑賞のイベントを実施した。
- ハンドメイドマルシェ（12月5日・1月23日 参加者27名）
リサイクル活性化のため、工房講師の手作りのエコ石鹸などを販売するとともに、教室のニーズについて意見を聞いた。
- 家庭でできるSDGs家庭用野菜クズの処理（1月29日 参加者7名）
段ボールコンポスト作りと家庭のプラごみ削減の教室を開催した。
- リユース推進活動
多くの市民にリユース推進活動に参加いただくため、リユース品を活用した「ベビー用品抽選会」や「ゆずりますフェア」を開催した。
 - ・ベビー用品抽選会（4月17日・7月25日 参加者21名）
 - ・ゆずりますフェア（8月14日 参加者22名）
- おもちゃの病院（参加者数 343人）
毎月第1土曜日に壊れたおもちゃを修理して、3Rの啓発につなげるイベントを実施した。
- 太陽光パネル発電装置作り（12月18日）
災害時の自然エネルギー利用についての勉強会を開催した。

(3) 広報・周知及び情報提供

●施設、行事案内等の広報

- ・市政だよりへの行事案内の掲載。
- ・環境情報誌「かわちの風」（環境アニメイティッドやお発行）に記事掲載。
- ・FMちゃおの取材、J-COM番組出演。

●ポスター、パンフレット、チラシの作成等

- ・「めぐる通信」について年4回発行していたが、コロナ禍のため中止となった。
- ・来館者用としてリサイクルアトリエのチラシを作製した。

●ホームページ等を活用した情報発信

- ・昨年度にリニューアルしたホームページについて、スマートフォンやタブレットからも見やすいようにモバイルへの対応を行った。
- ・フェイスブック・ツイッター・インスタグラムを活用し、各教室の紹介や参加者の作品紹介、環境問題、啓発イベントを投稿し、常にフレッシュな情報発信に努めた。

(投稿数)

- ・フェイスブック 272 件
- ・インスタグラム 159 件
- ・ツイッター 36 件

(4) めぐるサポーター（市民ボランティア）の活用

活動人数 14 人、活動実績 延べ 79 人（参加人数の合計）

- ・施設見学他、各種イベント開催時のサポート等。

※令和 3 年度は施設見学やイベントが中止となり活動実績は少なかった。

4. その他の主な実施事項

●仕様書等に基づくその他の業務

- ・太陽光発電の統計記録の作成、ニッポンバラタナゴの飼育等を適正実施した。

●リスクマネジメント

- ・消防訓練を実施した。（2 回）
- ・賠償責任保険、ボランティア保険への加入。

●環境マネジメント

- ・照明及び空調設備使用の適正管理、事務用紙の裏紙使用の徹底、周辺清掃活動等の環境改善活動を実施した。

●サービス向上と効率的な管理運営

- ・「学習プラザ運営委員会」を設置し、毎月 1 回定例会を開催した。

5. コロナ禍における事業について

(1) 安全安心な施設づくり

- ・危機管理規定を設けてガイドラインに基づき徹底した 3 密回避の対策を実施。
- ・マスク着用の徹底。人との距離をとる。大声で話をしない等のルール順守。
- ・消毒液と非接触探知機の設置。
- ・こまめな換気、送風機の稼働。
- ・エレベータの利用をできるだけ控えていただき、階段や教室では入口と出口の導線を分ける。
- ・定員の制限。
- ・パーテーションの設置と使用後の消毒。

(2) ウェブを用いた情報発信

- ・SNS を通じた情報発信。
- ・リサイクル体験工房教室の動画作成。

(3) その他

- ・学習用冊子「ごみはどうなるの？」の作成。

V 管理運営経費の収支状況

[収入の部]

(円)

科 目	金 額	内 容
指定管理料	20,539,000	
利用料金	4,840	施設利用料
事業収入	192,200	イベント参加費等
その他収入	45	預金利息
合 計 (A)	20,736,085	

[支出の部]

(円)

科 目	金 額	内 容
人件費計	12,788,437	給料、賃金、福利厚生費等
事業経費計	1,697,393	
報償費	780,355	講師謝礼等
需用費	157,061	工房用消耗品費、印刷製本費等
役務費	288,977	通信運搬費、手数料、保険料
使用料及び賃貸料	462,000	バス借上げ料
負担金	9,000	研修等参加負担金
維持管理経費計	2,595,311	
需用費	496,301	消耗品費、修繕費
委託料	574,120	清掃、観葉植物管理、設備保守点検等
使用料及び賃貸料	97,273	テレビ聴視料、モップ・マット使用料等
備品購入費	0	
租税公課	1,427,617	消費税、収入印紙
その他		
精算額	2,921,380	修繕料、バス借り上げ料
合 計 (B)	20,002,521	
差引 (A-B)	733,564	